



岩手を守り、日本を変える。

りっけん いわて 県連通信 No.22 2022.6.16



「岩手を守り、日本を変える。」盛岡駅前大街頭で氣勢あげる。

6月12日(日)JR盛岡駅前「岩手を守り、日本を変える」総決起集会が開かれました。集会では連合岩手、平和環境センター、岩手友愛会、いわて労連のそれぞれの労働団体の代表がマイクを握りましたが、「給料が上がったとしても物価高で打ち消され、実質的なマイナスになっていて、アベノミクス政策から生活者や地方重視に転換する時だ。」「木戸さんには岩手の実情がわかる政治家として再び岩手の声、労働者と生活者の声を中央に届けてほしい」との激励のあいさつが相次ぎ、木戸口再選に向けて労働界が一致して取り組む姿勢が鮮明になりました。

木戸口参議院議員は、「今続いている政治の大きな問題は、検証がされていないこと。

総括がされていないから立て直しが利かない。選挙の1票で自民党政治を総括・検証し、岩手から新しい政治をつくっていこう。」と訴えました。集会には応援に駆け付けた党所属の県議・市議・県連役員らも参加。詰めかけた300人余りの聴衆とともに「ガンバロー」を三唱し、必勝に向けた一層の取り組みを誓い合いました。



臨戦態勢整う

同日には「きどぐち英司選挙対策本部第一回選対会議」も盛岡で開催されました。各地区から選対幹部ら約200名が出席する中、情勢報告や役員選任が行われ、総括責任者には達増拓也後援会連合会会長の森越康雄氏、出納責任者にはきどぐち英司花巻後援会会長の高橋浩氏、掲示責任者には達増、きどぐち、横沢の各後援会で幹部を務める岩館正英氏が就任しました。党県連の選対との両輪で選挙戦に臨む態勢が出来上がりました。